

路面電車、黒瓦の家屋、海沿い—。  
「ナラタージュ」の世界感に浸れる  
富山県の街並みの色を感じてください。

**16 氷見市ふれあいスポーツセンター付近の道路**



ふれあいスポーツセンターへと続く小高い丘を登る道路で、泉が運転する葉山の車の中の2人の会話シーンが撮影された。道路沿いに立ち並ぶ木々が美しく映え、映画に登場するようにドライブスポットとしてもおすすめ。

●氷見市鞍川

**15 宮田のたいやき**



泉と小野がデート中にたい焼きを買うシーンを撮影。今では珍しく、ひとつひとつの金型で作り上げるたい焼きの名店。近くにはスタッフが撮影前のお祝いに訪れた高岡開野神社もある。定休日は毎週水曜日・毎月第3火曜日。

●高岡市末広町13-8

**12 金屋町**



小野の実家という設定で登場。また、泉と小野がデートする街並みとしても撮影が行われた。古くから鋳物職人の町として栄え、石畳の道と千本格子の家並みが見事に調和した歴史ある通りが魅力。

●高岡市金屋町

学校シーンの撮影スポット



**伏木高校**  
葉山が勤務する泉の母校という設定で、社会科準備室や廊下等で高校生活のシーンが撮影された。同校は富山県内で唯一「国際交流科」が設置されている県立高校で、国際社会で活躍できる人材育成が特色。



**とんみ野高校**  
歴史のある木造の講堂で、暑い中たくさんのエキストラが参加して文化祭のシーンの撮影が行われた。普通科と総合福祉科が設置されている定時制・単位制の県立高校で、生涯学習施設も併設されている。



**射水・旧新湊中学校**  
葉山が顧問を務め、泉が在籍していた演劇部の部室シーンが撮影された。元は射水市立新湊中学校の校舎だったが、統合・移転のため建物は撮影後に解体され、現在は更地となっている。今後、認定こども園が新設予定。

**万葉線に乗って、ロケ地を巡ろう!**

葉山と別れた泉が乗り込んだ電車として登場。高岡市と射水市・新湊エリアを結ぶ路面電車で、ドラえもんトラムをはじめ、最新のトラム車両からレトロなものまで、さまざまなタイプの電車が走る。この撮影のために、前身の加越能鉄道時代のペイントを施した車両も運行している。

●接続する高岡駅までは新高岡駅からJR城端線で約3分  
●路線バスで約8分(徒歩約20分、タクシー約5分)

●万葉線の「ご利用」

●電車に乗る泉を、葉山が線路沿いから見送るシーンで登場。小矢部川と庄川に挟まれた河口付近に位置し、ちょうどロケが行われた高岡市と射水市の市境に近い駅。駅前には地元住民が丁寧に育てた花壇が鮮やかに広がる。

●射水市庄西町2-5-60

**14 御旅屋通り商店街(文明堂書店前)**



夜道を歩く泉が小野に電話をかけるシーンで登場。高岡の中心部にあるアーケード商店街で、大型店舗と小売店舗が共存している。飲食店も多く、撮影終了後はスタッフが食事を楽しんでいた。

●高岡市御旅屋町

**11 高岡古城公園湊端**



泉と小野が買い出しに出かけた帰りに並んで歩くシーンが撮影された。濠に囲まれた公園は、加賀前田家2代当主・前田利長が築いた高岡城跡を利用して明治期に開園。当時の遺構がそのまま残る、高岡市民の憩いの場。

●高岡市本丸町

**13 高岡駅前(北口)バスのりば**



小野が泉を見送る高速バス乗り場として登場。高岡駅から出発するバス乗り場の拠点であり、路線バスのほか、東京等への高速バス、五箇山・白川郷への「世界遺産バス」、氷見・和倉温泉への「わくライナー」も発着する。

●高岡市下関町4-56 sorae高岡付近

**5 お多福**



泉と小野が食事をする居酒屋のシーンで登場。JR速星駅前の地元で愛されるホルモン・焼肉料理店。撮影日以外にもスタッフが通っていたほど、映画関係者にもファンが多い。定休日は毎週日曜日。

●富山市婦中町速星4-543

**3 富山県広域防災センター**



倉庫が燃えるシーンや、小野と泉がバイクで走るシーンを撮影。災害発生時の支援拠点になるほか、消防職員等の育成・防災知識の普及啓発等が行われる施設で、自然災害の学習体験もできる。

●富山市惣在寺1090-1



**9 庄川河口付近**  
葉山が泉に自身の過去と本音を打ち明ける重要なシーンで登場。庄川は、岐阜県を水源とする富山を代表する河川のひとつ。近くの堤防の上からは、川の向こうに広がる富山湾を望むことができる。

●射水市庄川本町

**7 新湊大橋**



小野と泉のバイク走行シーンを撮影。富山新港に架かる日本海側最大の斜張橋として2012年に開通し、上は車道、下は歩行者通路の2層構造の大橋。晴れた日には、日本海や立山連峰などが一望できる。

**8 内川(生活体験施設あずま付近)**



葉山の家がある設定で、泉が葉山の帰りを待つシーン等を撮影。船が川べりに係留されるとこ懐かしい街並みは「日本のベニス」とも呼ばれるほど美しい。これまで数々の映画・ドラマが撮影されている名スポット。

●射水市本町3-5-2 生活体験施設あずま

**2 富岩運河環水公園**



付き合い始めた泉と小野がデートする公園として登場。富山駅北口近くに位置する緑が美しい水辺空間で、「富岩水上ライン」のクルーズも楽しむことができる園内には、「世界一美しい」といわれるフターボックスコーヒーもある人気スポット。

●富山市湊入船町

**6 泉宮住宅海老江団地**



小野が暮らすマンションという設定で、外観や室内シーンが撮影された。

**4 水稲**



泉と小野が撮影が行われた施設として活動に広く利用の劇団「ぜい」が撮影

●富山市水稲

フォ葉山がに質な月を

●富

紹介したロケ地に制限されているエリア

富山県広域防災センター ● 3



# 映画「ナラタージュ」公開記念 富山県ロケ地MAP



「この恋愛小説がすごい！」第1位の恋愛小説  
主演：松本潤 × ヒロイン：有村架純 × 監督：行定勲で贈る  
「世界の中心で、愛をさけぶ」



許されなくても、  
一生に一度のすべてを捧げた恋——  
忘れられない恋をした  
すべての人に捧ぐ、衝撃の純愛



大学2年生の春。  
泉(有村)のもとに高校の演劇部の顧問教師・葉山(松本)から、  
後輩の為に卒業公演に参加してくれないかと、誘いの電話がくる。  
葉山は、高校時代、孤独な泉に居場所を与え、救ってくれた教師だった。  
卒業式の日の誰にも言えない葉山との思い出を  
胸にしまっていた泉だったが、再会により気持ちが始っていく。  
二人の想いが重なりかけたとき、  
泉は葉山から離婚の成立していない妻の存在を告げられる。  
葉山の告白を聞き、彼を忘れようと決意した泉は、  
自分を想ってくれる大学生の小野(坂口)との幸せに傾きかけるが、  
ある事件が起きる——。



ナラタージュとは  
「ナレーション」と「モンタージュ」をかけた言葉。  
映画などで、ある人物の語りや回想によって過去を再現する手法。

## ナラタージュ



製作：佐野真之 山川南 藤島ジュリーK、堀内大介 弓矢政法 倉田泰輔 高橋誠 渡辺修 吉賀俊輔 吉川英作 小川真司 エグゼクティブ・プロデューサー：豊島寿郎  
上田大地 プロデューサー：小川真司 古賀俊輔 共同プロデューサー：古澤貴洋 音楽プロデューサー：北原真子撮影：橋本淳 照明：市川徳光 編集：今井剛 衣装デザイン：  
伊藤佳智子 美術：相馬直樹 教養：田中宏 録音：伊藤裕規 ヘアメイク：倉田明美 VFXスーパーバイザー：遠藤志 音響効果：岡部品彦 キャスティング：杉野剛  
スタリフター：押田智子 助監督：堀田伸亦 制作担当：中村哲也 ラインプロデューサー：金森保 プロダクションマネージャー：杉島隆行 宣伝プロデューサー：平下敦子 製作：  
「ナラタージュ」製作委員会(アスミック・エース、東宝、ジェイ・ストーム、KADOKAWA、ジェイアール東日本企画、セカンドサイト、KDDI、GYAO、ザワール、日本出版販売、ブリッジヘッド)  
制作プロダクション：東映東京撮影所 制作協力：ザワール 企画協力：KADOKAWA 配給：東宝・アスミック・エース ©2017「ナラタージュ」製作委員会



松本潤 有村架純  
坂口 健太郎  
大西 礼芳 古館 佑太郎 神岡 実希 駒木根 隆介 金子 大地  
市川 実日子 瀬戸 康史  
監督：行定 勲  
原作：島本 理生「ナラタージュ」(角川文庫刊)  
脚本：堀泉 杏 音楽：めいいな Co.  
主題歌：「ナラタージュ」adieu(フュー・トゥー・ザ・パスト) / 作詞・作曲：野田 洋次郎

壊れるくらい、  
あなたが好き  
でした。

# ナラタージュ

10.7  
Roadshow

許されない、けれどすべてを捧げた恋——。あなたは一番好きだった人を思い出す。



10.7 Sat. ROADSHOW

劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です。  
映画関係の情報は  
www.eigakan.org  
0120-550098